

# サプライチェーンマネジメント

## 基本的な考え方

ニチレイグループの「ニチレイの約束」では、私たちが取り組むべきCSR活動の考え方を定義しています。しかし、私たちだけが取り組むだけでは、本来の考え方を実現することはできません。

当社グループは、企業が事業活動のライフサイクルを通じて社会への適切な対応を行うには、ステークホルダーとの適切な関係の構築が必要かつ重要であると考えています。特に、当社グループの事業は自然生態系から原材料を採取しているため、産地の地域社会に影響が及ぶ可能性があることを認識しています。そのため、長期的な視点にたち、調達における取引先やパートナー企業と適切な関係を構築し、事業を通じて地域社会の活性化と発展に貢献することを目指しています。

当社グループは、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組むため、「ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針」を制定し、以下の基本方針にのっとり商品やサービスの調達を行うとともに、この方針の理解と実践への協力を取引先へ働きかけていきます。

### ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針

ニチレイグループは、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組むため、以下の基本方針に則って商品やサービスの調達を行うとともに、この方針の理解と実践をお取引先へ働きかけてまいります。

法令遵守：事業を営む国・地域の法令・社会規範を遵守する。

公正な取引：公平、透明かつ公正な取引を行う。

人権：基本的人権を尊重し、安全で衛生的な労働環境の確保に努める。

環境：地球環境に配慮し、環境負荷の低減に努める。

品質・安全：商品・サービスの品質や安全性の確保に努める。

情報管理：情報を適切に管理するとともに、事業活動に関わる情報の適時・適切な開示に努める。

地域社会：企業市民として地域社会との共生を目指す。

[🔗](https://www.nichirei.co.jp/csr/supplychain/index.html) ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針(各国語版) (<https://www.nichirei.co.jp/csr/supplychain/index.html>)

## マネジメント体制

当社グループは、国内外での事業活動を通じて、サプライチェーンも含めて社会と環境にさまざまな影響を与える可能性があることを認識し、社会・環境の面からも、ステークホルダーとの適切な関係を築いていきたいと考えています。2017年4月に、CSR基本方針「ニチレイの約束」に「持続可能なサプライチェーンの構築」を明記し、その推進のよりどころとして、「ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針」を制定しました。サプライヤーの皆さまとも連携し、本基本方針に則った取組みを進めていきます。

事業会社のニチレイフーズでは、CSRに配慮した事業活動を行うにあたり、取引先パートナー企業に対して、調達に関する社会的責任について重点項目のチェックシートによる工場のセルフチェックを行い、工場品質監査時にチェックシートの内容について意見交換を行っています。

### ■ CSR経営推進会議

当社グループでは、「社会に貢献する事業活動」「グループコミュニケーションのあり方」「社会との信頼性の構築」などを主に議論する場として、2016年度より「CSR経営推進会議」を開催しています。同会議は持株会社のCSR経営推進プロジェクトメンバーと、グループ基幹4社の経営企画部や管理部門の担当者が主な構成メンバーです。2017年度は12回実施し、「持続可能なサプライチェーンの構築」に関する取組みについての討議やグループ各社の「環境や社会に関する課題の整理」などを行いました。今後も同会議を継続してCSR経営を推進していきます。

### ■ 人権プログラムへの参加

人権に対する対外的活動として、経済人コー円卓会議日本委員会(CRT日本委員会)が事務局を務めるニッポンCSRコンソーシアムが実施するステークホルダー・エンゲージメントプログラムに参加しています。

[🔗](https://www.nichirei.co.jp/corpo/humanrights.html) サプライチェーンにおける人権の尊重 (<https://www.nichirei.co.jp/corpo/humanrights.html>)

## ■ RSPOへの加盟

アブラヤシの果実から採れるパーム油は、食用油、石鹸や洗剤などさまざまな製品の原料に使われています。近年アブラヤシ農園の大規模開発が進み、熱帯雨林の伐採や泥炭地帯のCO<sub>2</sub>排出などの環境問題、農園で働く人々の強制労働・児童労働などが世界的な問題となっています。

当社グループは、2018年8月に持続可能なパーム油の生産と利用を促進する非営利組織、RSPO(Roundtable on Sustainable Palm Oil:持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟しました。製品に使用するパーム油を持続可能なパーム油にする取組みを進めていきます。

## 2017年度の取組み

当社グループでは、事業活動に関わるサプライチェーンマネジメントとして、さまざまな取組みを行っています。主な取組みは以下をご参照ください。

[🔗 持続可能なサプライチェーンの構築 \(https://www.nichirei.co.jp/csr/supplychain/index.html\)](https://www.nichirei.co.jp/csr/supplychain/index.html)

## ■ ASC/MSC認証商品

ニチレイフレッシュでは、2018年6月現在ASC認証<sup>\*1</sup>の水産物を2種類、MSC認証<sup>\*2</sup>の水産物を16種類取り扱っています。2017年度にはCoC認証<sup>\*3</sup>を保有する取引先とともに、MSC認証のニシン(魚卵)を使った「数の子松前漬け」と「数の子わさび漬け」を開発しました。持続可能な水産物の取扱いに向け、引き続き、ASCおよびMSC認証水産物の商品を増やしていきます。

※1 ASC認証:ASC(Aquaculture Stewardship Council:水産養殖管理協議会)による持続可能な養殖水産物の認証

※2 MSC認証:MSC(Marine Stewardship Council:海洋管理協議会)による持続可能な天然水産物の認証

※3 CoC認証:加工・流通過程の管理認証

### ● ニチレイフレッシュのASC/MSC認証取得製品(2018年6月現在)

認証	認証取得数
ASC 【認証登録番号】 ASC-C-01632	2種類(ブラックタイガー、バナメイエビ)
MSC 【認証登録番号】 MSC-C-52165	16種類 サケ類(カラフトマス、キングサーモン、ギンザケ、シロザケ、ベニザケ) スケトウダラ、マダラ、カレイ類(アブラカレイ、黄金カレイ、浅羽カレイ、白カレイ) ホタテガイ、ニシン、カラフトシシャモ、 ズワイガニ、カナダホッキ貝

## ■ サプライヤーアンケートの実施

当社グループは、2017年度に「ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針」を主要なサプライヤーと共有し、サプライチェーン上における現状把握に取り組みました。ニチレイフーズとニチレイフレッシュは2017年度に、国内外の主要なサプライヤーに対して、アンケート形式の調査を実施しました。

2018年度は調査内容の分析を進めて、今後の取組みを検討していきます。